

旭川未来会議 2030 の意見が反映された取組事例



取組事例1 観光分野 「まちなかアクティビティ」の開催



全国的にも川やガーデンに隣接した駅は珍しい！
旭川駅南エリアを効果的に活用して、商品造成やイベントを開催することで、
観光客の誘致を進めてはどうだろう。



大雪エリアの観光振興を担う（一社）大雪カムイミンタラDMOと連携し、都市部にありながら雄大な自然を身近に楽しむことのできる当地の魅力を存分に活かした「まちなかアクティビティ」を令和5年度から始めました。

JR旭川駅南側において「あさひかわ北彩都ガーデン」を中心に、忠別川の水を引き込む鏡池でのカヌーなど、**体験コンテンツを商品化**し販売。観光客はもちろん市民の皆さんも旭川の魅力を改めて知ることのできるイベントです。

令和7年度は6月下旬の「あさひかわデザインウィーク（ADW）」や9月中旬の「北の恵み 食べマルシェ」の期間に合わせて実施しました。

※体験コンテンツは（一社）大雪カムイミンタラDMOが企画・販売を行っています。

取組事例2 観光分野 旭川の魅力発信「ASAHIKAWA FINDER」



SNSとかメディアを上手に活用して、もっと色々な視点で旭川の魅力を発信できるといいのになあ。



ASAHIKAWA FINDER について
(あさひかわファインダー)

ASAHIKAWA FINDERは、旭川市内で撮影した「誰かに紹介したくなる」ような、素敵な写真や動画をInstagramに投稿し合う、ユーザー参加型のシティプロモーション事業です。投稿された作品は、定期的に旭川市で選考の上、旭川市公式Instagramで掲載させていただきます。掲載された作品の投稿者を「ASAHIKAWA FINDER(あさひかわファインダー)」として認定します。また、年間を通じて、活躍されたASAHIKAWA FINDERにはオブ・ザ・イヤーの称号と記念品をご用意します。



旭川を舞台に、誰かに紹介したくなるような、素敵な写真や動画をInstagramに投稿し合う、ユーザー参加型のシティプロモーション事業として令和7年度から「ASAHIKAWA FINDER」事業を開始しました。

投稿された作品は、定期的に旭川市で選考の上、旭川市公式Instagramで掲載、掲載された作品の投稿者を「ASAHIKAWA FINDER(あさひかわファインダー)」として認定。現在は60の方を認定しています。※令和8年3月25日現在。

また、年間を通じて、活躍されたASAHIKAWA FINDERにはオブ・ザ・イヤーの称号と記念品を贈呈。

多くの方々の様々な視点で、旭川の魅力を発信できる取組を進めています。



ASAHIKAWA FINDER
WEBサイト

取組事例3 農業分野 旭川の「さつまいも」生産拡大中！



「儲かる農業」を目指して、新たに選定した高収益作物（さつまいもなど）の生産拡大にチャレンジしてはどうか？



ねっとり系の甘さが特徴



さつまいも10株オーナー制度の様子
(苗植えと収穫の体験会)



さつまいもレシピを紹介して普及活動

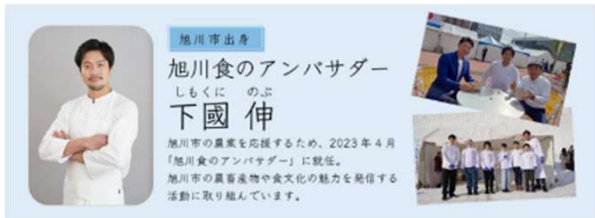
収益が期待される新たな作物の一つとして「さつまいも」に注目。本来は寒さに弱い作物で、道内での栽培は不向きと言われていましたが、近年の温暖化の影響もあり、道内各地で栽培地域が広がっていて、旭川でも年々生産量が増えています。

農業振興課では、さつまいも生産の拡大に必要な農業機械導入支援や旭川産さつまいものPRなど、各農協や生産者と連携して**生産拡大**と**認知度向上**に取り組むとともに、旭川市農業センターにおいては、苗の増殖実証試験を行い、技術の確立とマニュアルの普及拡大を図ることで、**収益化に向けた取組を支援**していきます。

取組事例4 農業分野 「あさひかわ食の応援隊」の取組



旭川ゆかりの有名人がいろいろな場面で活躍しているので、そういう人達と連携して旭川の農業や食をPRしたら、もっと広く旭川を知ってもらえて、観光客にももっと来てもらえるのでは？



旭川市の農業や食を応援を目的に、令和5年4月から旭川市出身の「下國伸（しもくに のぶ）」シェフに「旭川食のアンバサダー」として就任いただきました。

PR活動の一つとして、下國シェフと旭川の次世代を担う子どもたちと共に「あさひかわ食の応援隊」を結成し、地元の食の魅力を学びながら「旭川の新名物」の開発を目指すプロジェクトに取り組んでいただきました。

3年間の活動から、その集大成の1つとして「旭川ナポリタン」が誕生しました。

下國シェフの活動の様子は、市のホームページやYouTube、SNSで発信しています。



あさひかわ食の応援隊
旭川市ホームページ



旭川食のアンバサダー
旭川市ホームページ

取組事例 5 農業分野 クリーン農業について



旭川の豊かな環境を守りながら、農業を未来につなげていくために、環境に優しい循環型農業の実現に向けてできることはないかな。



オーガニックビレッジ宣言

旭川市 有機農業取組事業者 ※有機農業関係交付金対象者



泉大津市学校給食での有機米提供

泉大津市との連携開始以降、旭川市内での有機農業の取組が拡大！

環境負荷の低減と消費者の多様なニーズへの対応を目的に、有機農業や特別栽培などの**クリーン農業を推進**しています。また、旭川市は北海道独自の農業認証制度「YES！ Clean」の認証を、全道最多の15品目で取得しています。

さらに、有機農産物の生産から消費まで一貫して行う地域ぐるみの活動として、大阪府泉大津市と共同で「**オーガニックビレッジ宣言**」を行うなど、他都市との連携も進めています。

持続可能な農業を実現するため、環境保全型農業直接交付金やみどりの食料システム戦略緊急対策交付金で**農業者支援**を継続的に行うほか、クリーン農業推進の一環として、令和7年度からは、有機農業に関わる機械導入などを支援する**本市独自の補助事業**も実施しています。



取組事例 6 農業分野 あさがお出張マルシェ



旭川の農業や農産物の魅力を発信するため、市役所の総合庁舎で旭川の農産物を使った料理の提供や、農業イベントの開催ができないかな？



ASAHIKAWA CITY 旭川市農業振興課 × J.A.あさひかわ 連携

第12回
地場農産物フェア
あさがお出張マルシェ

旭川産農産物
や加工品を販売
します！！

12月18日(木)
時間 ①11:00~14:00
②16:00~18:00
場所 旭川市総合庁舎1階
ロビースペース

皆様のお越しをお待ちしております！

11月13日(月)
各60食
限定販売

食べマルシェで
大好評だったカレーを
販売します
※お味は本場で再現した
オリジナルカレーです

お味は大層山見て育ったの
ななつぼしを使用

トッピングは
食卓オリジナルverで販売予定
お楽しみに！

旭川市のアンバサダー
下國伸シェフが食堂に登場

令和4年11月、新庁舎1階に食堂がオープン。オープン記念に旭川産の米を使用した下國シェフオリジナルカレーを販売したほか、食堂のメニューには旭川産の安全安心な食材を積極的に取り入れ、米飯には旭川産のYES! Clean米ななつぼしを使用しています。

また、令和5年からはJ.Aあさひかわと連携し、地場農産物フェア「あさがお出張マルシェ」を定期開催。野菜や卵、果物など、旭川産の農産物や加工品を販売し、旭川の農業、農産物の魅力を発信しています。

取組事例7 福祉分野 ICT活用による地域福祉活動の負担軽減



民生委員児童委員の仕事は、記録を付けたり、情報を調べたり、作業がたくさんあって大変！担い手不足が深刻な中、少しでも負担を減らすため、ICTを活用して、もっと簡単に業務ができるようにならないかな？



○民生委員児童委員専用業務支援
ポータルサイト【参考画面】



民生委員児童委員の担い手不足や高齢化といった課題に対応するため、ICTを活用した負担軽減の取組を始めました。

一つは「民生委員児童委員専用業務支援ポータルサイト」の開発運用。

民生委員児童委員の日頃の活動記録作成（データ化）やオンライン相談掲示板などの機能が備わっており、まずはモデルとして3地区で運用を開始し、以後段階的に事業を展開しています。

○民生委員児童委員FAQシステム
【参考画面】



もう一つは「民生委員児童委員FAQシステム」の開発運用。

手引きやガイドブック、業務マニュアルなどをAIが学習し、民生委員児童委員からの質問に対して自動で回答するシステムです。訪問先などで確認したいことがあったときに、自身の端末でシステムに質問を入力すると、自動で回答が示されます。

このように、事務作業の一部をデジタル化して負担を軽減することで、地域住民の見守りや相談に集中できるよう支援しながら、誰でも地域の福祉活動に参加しやすい体制を整えます。

取組事例8 若者分野 「まちにち計画」 進行中！



旭川の街の顔とも言える「買物公園」。若者にとっても「行けば誰かに会え、語り合える」「何かやりたくなる」「居場所・たまり場」、そんな場所になったら、ワクワクして楽しめるのになあ。



平和通買物公園を舞台に、日常的な賑わいや居心地の良い空間づくりを目指す社会実験「まちにち計画」を実施しました。

「買物公園エリア(=まち)で過ごす日」を「まちの日」=「まちにち」と呼び、毎日がそのような特別な日になるようにという願いを込めた「まちにち計画」。



官民連携組織「買物公園エリアプラットフォーム」と旭川市が策定した「買物公園エリア未来ビジョン」の実現に向けた取組で、2025年にはグッドデザイン賞を受賞しました。

芝生やベンチの設置、オープンカフェの展開など、居心地の良さと賑わいの両立を検証してきました。



市民がパフォーマンスや展示、物販などを簡単な手続で行える「バスキング(路上表現)制度」の実証実験なども行いました。

誰もが買物公園で日常的に表現や交流を楽しめる「ウォークブルなまちづくり」を目指しています。



取組事例9 若者分野 主要都市からの航空便の増加



旭川空港は地域にとっての大きな強み！
旭川に住む若者を増やすだけでなく、他のまちから観光などで訪れてもらう
ためにも、主要な都市との就航路線がどんどん増えてほしい。



旭川空港初の国内LCC定期便

60周年を迎える旭川空港の
利用促進に向けて、令和8
年度以降も**誘致活動を強化**

国内外の航空会社や旅行代理店への働きかけには、近年特に力を入れており、その効果として、令和5年12月に旭川空港初の国内LCC定期便となるジェットスター・ジャパン 旭川＝東京(成田)線が就航しました。

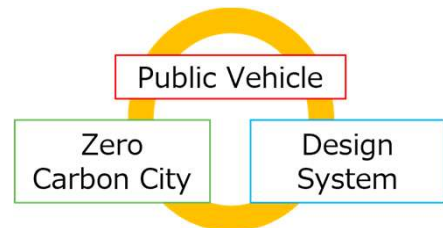
国内移動の利便性向上に加え、成田空港を經由して世界の各都市と旭川がつながること
で、各国からの観光客による**地域経済の活性化**も期待できます。

また、関西方面やアジア圏への路線拡充・新規開拓等を目標とした誘致活動、航空会
社に対する要望活動も積極的、継続的に行っています。

取組事例 10 環境分野 公用車へのEV(電気自動車)の導入



ゼロカーボンを推進するためには、市役所も率先して取組を進めるべき！
公用車をEV化して、その実績をPRすれば、EVが広く市民にも浸透するのでは？



ZERO CARBON
HOKKAIDO
ASAHIKAWA

EPV (Electric Public Vehicle)
を初導入！

「世界の環境に貢献するサステナブルデザイン都市・旭川」の実現を目指し、令和6年10月に一般車両公用車として初めて、100%電気軽自動車2台を導入しました。

導入時には、市役所総合庁舎1階において、旭川市デザインシステムを取り入れた車両を展示。合わせてゼロカーボンに関するパネル展も実施しました。

温室効果ガスの排出削減を図るとともに、公務利用を通じて、多くの方々の目に触れることで、ゼロカーボンに関する機運を高め、普及啓発に努めていきます。





「食品ロス（本来は食べられるのに捨てられてしまうこと）」は大きな問題。個人がそれぞれ取り組むだけでなく、まち全体で食品ロスを減らす仕組みはできないだろうか？



旭川市食品ロス削減ポータルサイト



旭川市食品ロス削減ポータルサイト

食品ロスの削減を推進するため、市民や事業者の皆さんが自主的に行動できるように、様々な取組を進めています。

家庭における食品ロス削減のためには、「食品ロス削減親子クッキング」というイベントや、セミナー等を開催しています。

また、事業系食品ロス削減に向けては、積極的に削減に取り組む飲食店や小売店などを「あさひかわ食品ロス削減協力店」として登録し、その情報を旭川市ホームページ上で公開。市民の皆さんに登録店を積極的に利用いただくことで、食品ロスを減らす仕組みを広げています。

他にも、市内の一部スーパーでは、家庭等で余っている食品を持ち寄り必要としている人へ提供するフードドライブの取組も始まっており、食品ロス削減の意識が着実に高まっています。

これらの取組を広く周知し、まち全体に食品ロス削減の意識が広がるように「旭川市食品ロス削減ポータルサイト」では、様々な情報を発信しています。

取組事例 1 2 子育て分野 waka・baについて



市中心部（ツルハ旭川中央ビル2階）にオープンする子育て支援の施設（現在のwaka・ba）について、子育て中の保護者や子育てに関わる人々の意見をしっかりと取り入れて欲しい！



旭川未来会議 2030

健診や相談を気軽に

将来的な機能やイベント

ロゴ＝
若葉・水をあげる
じょうろ

愛称＝若葉のように
すくすく育てほしい

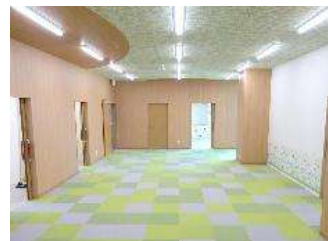
安全・安心で
行きやすい施設

みんなで子育て

旭川産の木製玩具

民間との連携
土日開放

令和4年10月1日オープン！



施設の機能や設備、将来的に付加する要素やイベントについて、実際に子育てに携わる方々の視点から多くの意見をいただきました。

それらの意見を基に、施設のロゴ・名称を決定したほか、可動式の仕切り設置や、旭川産木製玩具の配置など、可能な限りの意見を反映し、令和4年10月1日に「waka・ba」がオープン。

また、令和6年6月からは、毎週末の土曜日・日曜日に様々なイベントを開催する「おやこサポートWeekend」も実施しています。

取組事例 1 3 女性活躍分野 「みんなのキャリアの保健室」の開設



働き方に課題を感じていたり自信を持ってない女性が、仕事でもやりがいや楽しみを感じられるように、働き方について個別のアドバイスや支援を受けられる、困った時に気軽に駆け込めるような「保健室」があるといいのになあ。



企業版 旭川での「働く」を支える！！
「みんなのキャリアの保健室」ができる **3**つの事

- 1 働く人のリアルな声をお届け**
「みんなのキャリアの保健室」は、旭川市内で働く人の相談窓口です。
キャリア形成、仕事と生活の両立での悩みなど、相談で蓄積された就労者ニーズを分析し、ホームページを通じて地域企業に情報提供します。
- 2 人材確保、人材育成、人材定着セミナーの開催**
人材確保にお悩みの企業に向けて、中小企業診断士によるセミナーを開催し、人材確保や人材育成に役立つ取組を提案します。
- 3 登録事業者への特典**
相談窓口「みんなのキャリアの保健室」を従業員に積極的に周知してくれる事業者の登録制度を設けます。
登録制度に参加いただくと、多様な働き方推進事業者認定・表彰制度への申請要件となる他、様々な特典があります。

働く人、働きたい人の「働く」を支えるための総合的な相談窓口として、令和6年度「女性のキャリアの保健室」を試行的に開設。

実施後に行われた会議により、オンラインの活用やネーミング、幅広い層への周知などの意見を受け、さらにブラッシュアップ。相談支援と事業者支援を組み合わせた「みんなのキャリアの保健室」として、令和7年6月から本格的な運用を開始しました。

個人向けの無料相談として、キャリアコンサルタントや中小企業診断士などの専門家が仕事内容や職場環境の悩み、キャリアアップ、起業、子育てや介護との両立などについて幅広く相談に応じます。

また、企業向けの人材定着支援として、人手不足や人材育成に悩む市内企業に対し、セミナーの開催や職場環境改善のための具体的なアドバイスを提供しています。



みんなのキャリアの保健室
WEBサイト

取組事例 1 4 障がい者スポーツ分野 教育機関と連携したパラスポーツの普及



障がい者スポーツの普及について、教育機関との連携は大切だと思う。学校で障がい者スポーツの楽しさや効用についての理解や共感を深めることで、スポーツを始めるきっかけにもつながると思う。



「あすチャレ！」を
市内の小・中学校で開催！



アスリート・専門家を招き、
スポーツ教室や研修・講座を開催！

多くの方が訪れるスポーツイベントで
ニュースポーツを紹介！

令和 6 年度から日本財団パラスポーツサポートセンターが実施するパラスポーツ体験型出前授業「あすチャレ！」を市内小中学校で開催しています。

(令和 6・7 年度は年間 10 校で開催)

また、アスリートや専門家をお招きして、**スポーツ教室や研修・講座**を開催。児童生徒がアスリート・専門家から直接指導が受けられる機会を設定しています。

他にも、リクルートスタッフィング リック&スー旭川体育館等で**定期的にスポーツイベント**（けんスポ！等）を開催し、障がいの有無に関わらず**誰もが楽しむことができる**ニュースポーツなどの体験、普及活動を行っています。

取組事例 1 5 ものづくり分野 「あさいち」の開催



人が集まる駅前広場や買物公園、北彩都ガーデンなどに、農家さんや食に関わる市民がポップアップストアとして出店できる環境があったら、旭川の食が更に盛り上がるんじゃない？



あさひかわデザインウィークにおいて、旭川の食の魅力を発信する「朝のあさひかわ」プロジェクトが令和6年6月から始動し、北彩都ガーデンで「あさいち」を開催しています。

「あさいち」は、デザインの力で地元食材に付加価値を付け、選ばれるブランドに育てることを目指し、市民や観光客に旭川の食の豊かさを体感してもらう実践の場としての役割を担っています。

旭川やその近郊の、素材や栽培方法にこだわった作り手の皆さんが、北彩都ガーデンに集結し、「あさいち」ならではの朝ごはんや地元食材を使ったお弁当、農産物、パンやスイーツ、雑貨クラフトなどを販売。朝のひとときが大いににぎわっています。



取組事例 1 6 **ものづくり分野** バルイベントについて



買物公園を「食」と「人」でにぎわう「愛される場所」とするため、旭川ならではの美味しい食をみんなで共有するイベントができないかな？



旭川平和通買物公園企画委員会が主催する「あさひかわ買物公園バル」は、買物公園にある飲食店舗を巡るチケット制の食べ飲み歩きイベントです。市としてもこの取組を支援し、旭川ならではの「愛される食」の魅力を発信しています。

食を中心に関連産業や人々の輪を広げていくことで、今後も賑わいあふれるまちづくりを進めていきます。



旭川には「食べマルシェ」があるのだから「芸術マルシェ」があってもいい。文化芸術に気軽に触れられるイベントを開催することで、文化芸術活動に興味を持つ人が増えて盛り上がるんじゃないかな。



令和5年度文化分野の皆様からのアイデア「市民芸術マルシェ（仮）」は令和9年度の本格実施を目指し、各団体と協議など、準備を進めているところです。

買物公園で音楽、ダンス、演劇、書道、写真、囲碁などジャンルの異なる文化芸術団体が交流し、道行く人がその場で制作過程を体験したり、アーティストから解説を聞いたりできるイベントとして計画。

まずは、運営体制や市民の反応を検証するため、令和8年度に試行的にプレイベント「ミニ芸術マルシェ」の開催を予定しており、結果を踏まえて本格的な定期開催を目指していきます。

取組事例 1 8 子育て分野 子育て情報の認知度向上を目指した発信



子育てに関する情報発信をしている「あさひかわこども一る」や子育て支援部のInstagram「あさきっず」のことをまだ知らない人もいるかもしれないし、もっとアピールしてはどうだろう。



あさひかわこども一る
WEBサイト



あさきっず
Instagram

子どものお出かけ情報や暮らしに関する情報を集めたサイト「あさひかわこども一る」では、利用者の利便性向上を目指し、令和7年2月に「イベント」カテゴリや会員登録機能の充実、「つながる」カテゴリ、プッシュ通知機能を追加しました。また、広報誌「あさひばし」でのPRについて掲載面積を従来より拡大したほか「暮らしのアプリ」との連動やLINEメニューへの追加など、幅広くアクセスできる方法についても検討してまいります。

さらに、令和7年8月に開設した旭川市子育て支援部の公式Instagram「あさきっず」では、子どもや子育てに関する情報やイベントを随時お知らせしています。今後も、子育て世帯にとって役立つ情報を積極的に発信してまいります。



取組事例 19 子育て分野 インクルーシブな環境の整備



遊具の使い方が分からないことや、言葉でのコミュニケーションがとれないことなどに関係なく、どんな子どもでも楽しめる環境を整備することが大事だと思う。



愛育センターの園庭を整備中！

※令和8年5月～供用開始予定



安全マットやバスケット型座面が付いたブランコなど、**インクルーシブ遊具**を設置



園庭整備の状況を公開中！



写真日より
旭川市ホームページ



あさきっず
Instagram

旭川市愛育センターの園庭整備について「遊びから考えるインクルーシブ」をテーマとして意見を伺い、築山付のすべり台やバスケット型座面のブランコなど「インクルーシブ遊具」を導入したほか、新しい園庭をベースとした地域社会との関わりとして、近隣の保育施設や地域住民、保育を学ぶ学生との交流事業などを検討しています。





ASAHIKAWA CITY